

公共事業環境配慮書

北信建設事務所 整備課

事業名称		
事業名	道路改築事業	
整理番号	25-1	
事業の種類	道路(県道)の改築事業	
市町村名	中野市	
箇所名	柳沢	
事業年度	平成25年度～平成33年度	
事業概要		
目的	道路改築事業によりバイパス道路を整備し、車両の安全かつ円滑な通行あるいは歩行者の安全を確保する。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 L=1.8km 道路幅員W=6.0(10.75)m	
関連する事業計画	なし	
その他特記事項	なし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	農地法の農地 河川法の河川区域または河川保全区域 農振法の農業振興地域 文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地	
その他	なし	
社会的要素		
留意すべき地域の概況		
交通の現況	事業区域と並走するように第一次緊急輸送路である国道117号及び国道292号が位置する。交通量は6,379台/日であり、平成42年において6,208台/日を見込む。長電旧木島線廃線に伴うバス路線。	
土地利用の現況	バイパス予定地は主に田園である。	
生活関連施設の現況	周辺に倭小学校がある。	
その他	平成27年3月14日 北陸新幹線飯山駅開業	
自然的環境要素		
環境配慮の方針		
大気環境	留意すべき地域の概況	生活関連施設がある
	【大気汚染の防止】	
	資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行はできるだけ避ける。 交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。 土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。 排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	
	【騒音、振動の防止】	
水環境	留意すべき地域の概況	河川・湖沼に隣接する
	【水質汚濁の防止】	
	沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。 地盤改良は適切な薬液を選定し、必要最低限の薬液注入範囲とする。 工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。	
	【水循環の保全】	
地形・地質	留意すべき地域の概況	平地である
	【改変面積の最小化】	
	地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。 段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。 工事により裸地化する箇所は早期の緑化・植栽を行う。 工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。 法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。	
	【すぐれた景観の保全】	
景観	留意すべき地域の概況	河川景観を形成している
	【すぐれた景観の保全】	
	工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。 【良好な景観の育成】 周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。	

自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	千曲川(水辺)がある
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】 不特定多数の人が利用している自然とのふれあいの場又はふれあい活動に重大な影響を与える周辺環境の改変をできるだけ避ける。	
文化財等	留意すべき地域の概況	周知の埋蔵文化財包蔵地がある
	【文化財等への配慮】 原則として史跡・名勝・天然記念物の指定地内への立地は避ける。 史跡等の周辺や埋蔵文化財を包蔵する可能性の高い土地への立地をできるだけ避ける。	
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】 建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。 建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】 現場発生材の現位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
	【資源の有効利用】 再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。 信州リサイクル認定製品の利用を推進する。	
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】 低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。 アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	大気環境	低周波を含めた騒音・振動の軽減を図るため、急勾配や急カーブを避けるなど、道路設計への配慮をしてください。	急勾配や急カーブを避けた道路設計に配慮します。
2	文化財等	事業箇所は埋蔵文化財包蔵地 柳沢遺跡に該当しているため、遺跡の保護について長野県教育委員会及び中野市教育委員会と調整を諮ってください。	埋蔵文化財の保護について、長野県教育委員会及び中野市教育委員会と調整を図ります。